

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
121221046	住文化論	西村 和哉			2	必修	2前期

科目の概要

「住文化の変遷と新たな流れ」を学習し、住むために必要な要素、環境、条件等の基礎知識を修得します。インテリア用品の特性を学び、「小住宅の作図実習」を通じて課題を考察し作図、提案します。また、「住文化の新たな展開」を学習し、未来に向けた住文化のありかたを考察します。自己の価値観を確立しながら、人々の日常生活を住の面から支援できる能力（ディプロマ・ポリシーの④に相当する）を身に付けます。設計事務所にて住宅、店舗、公共建築等の設計活動を通じて養われた経験を基に、住文化、デザインの背景や理由等について理解を深め、実践的に生かせる講義内容とします。

学修内容	到達目標
① 戦後の日本を中心に住文化の概要を知り、説明出来るようになることを目的とする。 ② 小住宅の作図実習を行い、簡単な設計図書の作図が出来るようになることを目的とします。 ③ 社会問題を通じて住文化を考えられるようになることを目的とする。 ④ 未来の住文化について考えられるようになることを目的とする。	① 住文化の概要を理解し、説明することが出来る。（ディプロマ・ポリシーの④に相当する） ② 簡単な設計図書の作図を行うことが出来る。（ディプロマ・ポリシーの④に相当する） ③ 社会問題と住文化を関連づけて考え、説明することが出来る。（ディプロマ・ポリシーの④に相当する） ④ 住文化の未来について考察し、提案することが出来る。（ディプロマ・ポリシーの④に相当する）

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	ア. 技能を習得するという目標に向かって指示が無くても自ら練習することが出来る。 イ. 課題を行うのに必要な知識を、文献、新聞等を使って自己学習することが出来る。
	働きかけ力	ア. わからないときに相談することができる。
	実行力	ア. 課題や作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることが出来る。
考え抜く力	課題発見力	ア. 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることが出来る。
	計画力	ア. 計画通りに進まないときは、計画を見直し修正出来る。
	創造力	ア. 物事を考える時に、固定概念にとらわれることなくいろいろな方向から考えることが出来る。
チームで働く力	発信力	ア. 整理した内容を、的確な文章で表現出来る。
	傾聴力	ア. 人の意見を確認し、さらに自分の意見を考え、発言したり、課題に取り組むことができる。
	柔軟性	ア. 自分と異なる価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	ア. 自分が出来ることを考え、またどんな影響を及ぼすか考え、目標に向かって努力できる。
	規律性	ア. 遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	ア. 失敗した時や落ち込んだり動揺することがあっても、次に進むことができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。プリントを適宜配布する。 ※「参考文献」は読むことが望ましい書籍の紹介です。講義では使用しません。
 参考文献1： BRUTUS Casa (株式会社 マガジンハウス)
 参考文献2： クロワッサン (株式会社 マガジンハウス)
 参考文献3： モダンリビング (株式会社ハースト婦人画報社)

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「住文化論」は専門分野の空間・情報デザインの科目群の住分野の一部であり、「インテリアデザインI（住宅）」で獲得した知識・技術を活用する。また、「住文化論」は、その後に履修する「住宅計画」「住居管理論」の基盤となる科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
使用するプリントだけでは不足する部分もあります。新聞、TVニュース等で社会問題等にも目を向けること。また、自主性を持って課題に取り組んで下さい。参考文献等は必読ではないが読むことが望ましい。また、予習、復習を行うこと。レポート等では事前準備が必要な課題もあります。常に情報収集に気を配りましょう。 ※作図の授業時には定規（三角スケールが望ましい）、シャープ（製図用シャープペンが望ましい）、消しゴム等を用意すること。（購入時期は講義内で説明してからで問題ありません。）	事前準備が必要な課題、講義内で完成しなければならない課題、進み具合を確認しながらの課題もありますので、欠席は厳禁です。また、許可（ネット検索等）がない限り携帯電話は、カバンに入れておくこと。時間と提出期限は厳守して下さい。提出課題はすべて提出すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	10	①	✓			・小テスト①「住文化の変遷について」を実施します。 授業内容を理解しているか確認する。 穴埋め問題を出題する。配布資料は持ち込み可とする。 出題範囲は、各時点までの授業で学習した内容とする。 「住文化の変遷について-1、2」を学んでミニレポートも含み、現在の生活と比較して、自分なりの言葉でまとめる能力を評価します。 (獲得) 住文化の変遷と多様性を知る。(80%) (活用) 現代社会との比較し相違点を抽出できる (10%) (解決) 抽出した点の現代社会での有用性を提案できる (10%)
				②				
				③				
				④				
		レポート	20	①	✓			・課題①「私の好きな街並・景観」。(10点) 事前に街並・景観について調べておく、好きな理由を自分なりの言葉でまとめる能力を評価します。(800字以上+写真添付) (獲得) 街並・景観の多様性を知る (80%) (活用) その街特有の住文化を考える (10%) (解決) 保存と開発について提案できる (10%) ・課題②「住文化の新たな流れ」を学んで。(5点) 様々な法律と現在の生活を通じて、自分なりの言葉でまとめる能力を評価します。 (獲得) 法律の多様性を知る (60%) (活用) 実在すると有用な法律、ユニバーサルデザインを考察する (20%) (解決) 実在すると有用な法律、ユニバーサルデザインを提案する (20%) ・課題③「インテリア用品について」を学んで。(5点) 自分の興味をもったインテリアについて、理由を添えて自分なりの言葉でまとめる能力を評価します。 (獲得) インテリア用品の多様性を知る (60%) (活用) 自分の好きな色彩、要素等、理由を抽出する (20%) (解決) 自分の好きな色彩、要素等、整理して提案する (20%)
				②				
				③	✓			
				④				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	60	①				・成果発表①「作図実習」。(30点) 図面の見方、書き方を学びます。 小さな住宅を理解し、作図を行い、その内部のインテリア提案をしてもらいます。 自分なりのアイデアで提案出来る能力を評価します。 (獲得) インテリア要素の使い方、設計知識を知る (30%) (活用) 獲得した知識、技能を作図、表現に生かす (30%) (解決) 作図、表現をもって新たな提案をする (40%) ・成果発表②「未来に向けた『住文化』の在り方」。(30点)（※筆記試験の代わり） 住文化の変遷をふまえ、今後の住文化の在り方を社会問題（高齢化社会、少子化、空き家対策、省エネ、木材利用の促進、etc.）とともに考え、「未来に向けた『住文化』の在り方」を自分なりの言葉、スケッチ、写真でまとめる能力を評価します。(A3用紙1枚に文章400文字程度+スケッチ、写真) 第14週授業（オンデマンド）の出席確認としてGoogle classroomにレポートを提出します。 (獲得) 新たな「住文化」の多様性を知る (20%) (活用) 実在すると有用な「住文化」を考察する。小テスト、レポート課題、成果発表①で獲得した知識・技能を作図、表現に生かす。(20%) (解決) 実在すると有用な「住文化」を提案する。小テスト、レポート課題、成果発表①で獲得した知識・技能をもって新たな提案をする (60%)
				②	✓			
				③				
				④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			(主体性) ・技能を習得するという目標に向かって指示が無くても自ら練習することが出来る。 (実行力) ・課題を行うのに必要な知識を、文献、新聞等を使って自己学習することが出来る。 (課題発見力) ・課題や作品を仕上げるための手順や方法を考えて目標に向かって進めることが出来る。 (創造力) ・事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることが出来る。 (発信力) ・物事を考える時に固定概念にとらわれることなくいろいろな方向から考えることが出来る。 (傾聴力) ・整理した内容を、的確な文章で表現出来る。 (規律性) ・人の意見を確認し、さらに自分の意見を考え、発言したり、課題に取り組むことができる。 ・遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・住文化の概要を理解し「自分の言葉」で説明することが出来るようになること。 ・作図実習では創造力を発揮し「自分のアイデア」、「自分の表現方法」で提案が出来ること。 ・社会問題と住文化を関連づけて考え、「自分の言葉」で説明が出来ること。 ・住文化の未来について、「自らの考察」で「自分の言葉」、「自分の表現方法」で提案することが出来ること。 A(優)は、B(良)と比較し「自分の言葉」、「自分のアイデア」、「自分の表現方法」等で説明及び提案がなされていることが重要です。その上で、さらに「アイデア」や「表現方法(プレゼン)」が卓越しているものには、S(秀)を付与します。	B(良) ・課題に意欲的に参加していること。 ・住文化の概要を理解し説明することが出来ていること。 ・簡単な設計図書の作図が出来、説明と提案が出来ていること。 ・社会問題と住文化を関連づけて考え、説明することが出来ていること。 ・住文化の未来について考察し、提案、説明することが出来ていること。 C(可) ・課題を提出していること。 ・住文化の概要を理解出来ていること。 ・簡単な設計図書の作図が出来ていること。 ・住文化の未来について考察し、提案することが出来ていること。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	「ガイダンス」を行い、住宅実例の紹介を通じて「住文化」の概要を理解する。	講義 (プリントとパワーポイント)	『住文化論』の概要を理解する。また、実例紹介を通じて、その理解を深めること。	予習：PCにてGoogle classroom の資料を読んでくこと。 復習：講義ノートを復習し自分なりに課題点を見つけること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	「住文化の変遷について-1」 古代から戦前までの住文化の変遷を勉強します。	フィードバック（前回の授業の要点について振り返り説明） 講義 (プリントとパワーポイント) 日常生活と比較し、身のまわりに対する意識を高める。	住文化の変遷を理解すること。古代から戦前までの住文化を理解する。	予習：PCにてGoogle classroom の資料を読んでくこと。 復習：講義ノートを復習し、住文化の流れを理解すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	「住文化の変遷について-2」 戦後の新たな住文化の流れを勉強します。	フィードバック（前回の授業の要点について振り返り説明） 講義 (プリントとパワーポイント)	戦後の新たな住文化の流れを理解する。	予習：PCにてGoogle classroom の資料を読んでくこと。 復習：講義ノートを復習し、住文化の流れを理解すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
4	「住文化の新たな流れ」 建築基準法における新たな住文化の流れ（品格法・耐震改修・省エネ法・バリアフリー法・景観法等）を勉強します。	講義 (プリントとパワーポイント) 小テスト①「住文化の変遷について」フィードバック（回答、所見・解説を補足して、さらに深く理解する。） レポート課題②「住文化の新たな流れ」フィードバック（回答、所見・解説を補足して、さらに深く理解する。また自分の考えを理解する。） ※最終提出第7週締切	小テスト①提出。 レポート課題②提出。 住文化の新たな流れ、関連する法律を理解すること。	予習：PCにてGoogle classroom の資料を読んでくこと。 復習：講義ノートを復習すること。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	「インテリア用品について-1」を学ぶ。	フィードバック（前回の授業の要点について振り返り説明） 講義 (プリントとパワーポイント) 日常の生活空間が多様な素材で成り立っていることを理解し、インテリアへの意識を高める。	インテリア用品を学び、その影響・効果について理解する。	予習：PCにてGoogle classroom の資料を読んでくこと。 復習：講義ノートを復習し、インテリア用品を理解すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
6	「インテリア用品について-2」を学ぶ。	講義 (プリントとパワーポイント) レポート課題③「インテリア用品について」 フィードバック（回答、所見・解説を補足して、さらに深く理解する。） ※最終提出第9週締切	レポート課題③提出。 インテリア用品を学び、その影響・効果について理解する。	予習：PCにてGoogle classroom の資料を読んでくこと。 復習：講義ノートを復習し、インテリア用品を理解すること。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7	「都市について」 街並や景観について勉強します。	講義 (プリントとパワーポイント) レポート課題① 「私の好きな街並・景観」 フィードバック（回答、所見・解説を補足して、さらに深く理解する。また自分の考えを理解する。） ※最終提出第11週締切	レポート課題①提出。 街並・景観等について理解する。	予習：レポート課題①のために、 街並・景観についての情報収集。 復習：講義ノートを復習する。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
8	作図実習-1 小住宅の作図を勉強します。 成果発表① (全体説明)	フィードバック（前回の授業の要点について振り返り説明） 講義 (プリントとパワーポイント) 図面の見方等、基本事項の説明と作図課題の説明を行います。 Google classroomを利用して実例やアイデアの情報を共有します。	図面の見方を理解すること。	予習：作図課題の予習が必要です。 作図道具を調べる。 復習：プリント（図面の見方等）の復習。	180	働きかけ力 実行力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	作図実習-2 小住宅の作図を勉強します。 成果発表① (主に平面図)	フィードバック (前回の授業の要点について振り返り説明) 作図実習を行います。 製図用品を持参すること。 Google classroomを利用して実例やアイデアの情報を共有します。	作図について理解する。 (主に平面図)	予習: 「どんな小屋にしたいか。」コンセプト考察する。 復習: 目標まで作図を進める。	180	働きかけ力 実行力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	作図実習-3 小住宅の作図を勉強します。 成果発表① (主に平面図)	フィードバック (前回の授業の要点について振り返り説明) 作図実習を行います。 製図用品を持参すること。 Google classroomを利用して実例やアイデアの情報を共有します。	作図について理解する。コンセプトを作図として書き込む。 (主に平面図)	予習: 「どんな小屋にしたいか。」コンセプト考察する。 復習: 目標まで作図を進める。	180	働きかけ力 実行力 計画力 創造力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	作図実習A-4 小住宅の作図を勉強します。 成果発表① (主に展開図)	フィードバック (前回の授業の要点について振り返り説明) 作図実習を行います。 製図用品を持参すること。	作図について理解する。平面図との整合性を理解する。 (主に展開図 (窓・家具等))	予習: 目標まで作図を進める。 復習: 目標まで作図を進める。	180	働きかけ力 実行力 計画力 創造力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12	作図実習A-5 小住宅の作図を勉強します。 成果発表① (主にプレゼンテーション)	フィードバック (前回の授業の要点について振り返り説明) 作図実習を行います。 製図用品を持参すること。 ※最終提出第14週締切	成果発表①提出。 作図について理解する。図面を分かり易く仕上げる。 (主にプレゼンテーション)	予習: 目標まで作図を進める。 復習: 目標まで作図を進める。	180	働きかけ力 実行力 計画力 創造力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	「住文化の新たな展開」 (コーポラティブハウス、コレクティブハウス、シェアハウス等) について勉強します。 東日本大震災以降の住文化の動向を勉強します。	フィードバック (前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 (プリントとパワーポイント)	コーポラティブハウス、コレクティブハウス、シェアハウスについて理解すること。 東日本大震災以降の住文化の動向について理解すること。	予習: PCにてGoogle classroom の資料を読むこと。 復習: 講義ノートの復習。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
14	「住文化の今後の展望について」 成果発表②「未来に向けた『住文化』の在り方」の作成 (※筆記試験の代わり)	オンデマンド授業。参考図面を動画にて解説し要素、問題点を考察します。出席確認としてGoogleclassroomにレポート課題を出題し、回答をもって出席とします。	動画中の講評から多様な視点を学び、さらに多角的に考察します。的確な回答をもって到達レベルC(可)と評価します。	予習: 成果発表課題②の準備。 復習: レポート課題に回答する	180	課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性
15	「住文化の今後の展望について」 成果発表②「未来に向けた『住文化』の在り方」の作成 (※筆記試験の代わり)	フィードバック (第13週の授業の要点について振り返り説明) から、さらに深く理解し、自分の作品をブラッシュアップし、完成度を高めます。Google classroomを利用して実例やアイデアの情報を共有します。	成果発表②提出 これまでの授業内容を振り返り、住文化の今後の展望について考える。また自分の考えを理解する。	予習: 成果発表課題②の制作。 復習: 目標まで課題の制作を行う。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力